

療養病床の転換支援に関する当面の追加措置(案)

療養病床を転換する場合の課題として、次のようなご指摘をいただいている。

- 転換先の施設の基準を満たすことが難しい。
- 医療機関と老健施設を併設する場合、設備の共用が限られる。
- 転換後の経営の見通しが不透明。
- 転換に伴う施設の改修等に費用がかかる。
- 地域によっては整備枠がなく転換が進まない。

更に転換を促進するため、次の事項について速やかに実施する。

- ① 施設基準の緩和
- ② 医療機関と老健施設が併設する場合の設備基準の緩和
- ③ 転換後の経営モデルの提示
- ④ 医療法人経営の選択肢の拡大
- ⑤ 転換時の改修等に関する特別償却制度(法人税)の創設
- ⑥ 福祉医療機構の融資条件の優遇等
- ⑦ 第3期介護保険事業(支援)計画における定員枠の弾力化